

平成27年度 京都市「学校教育の重点」より

～目指す子ども像～

伝統と文化を受け継ぎ、次代と自らの未来を切り拓く子ども

～教職員像～

教育者としての責任を自覚し、確かなビジョンと力量を持つ教職員

～学校像～

市民ぐるみ・地域ぐるみの教育の核となる学校

*学校教育の基本指針

～確かな学力・豊かな心・健やかな体の調和のとれた育成～

「確かな学力」の育成に向けて

言語活動を経て、「学習課題（めあて・目標）」に応じた「まとめ」と「振り返り」を徹底
グローバル化時代における実践的な英語力の育成

「豊かな心」の育成に向けて

道徳教育の充実・・・教育活動全体を通じて道徳教育を推進する。
規範意識の育成・・・いじめ防止、人権意識を高める取組

「健やかな体」の育成に向けて

体力の向上と食物アレルギー対応

*学校運営の着眼点

社会の変化を見据え、子どものキャリア発達を支援する
教育者としての自覚と専門性を高める
小中一貫教育など校種間連携を推進する

*平成27年度重点項目

子どもの主体性と社会性の育成につながる「言語活動」と「協働活動」
・つけたい力を明確にした「言語活動」
・自律性と責任感の育成を目指した「協働活動」

平成27年度 京都市立下京渉成小学校 教育方針

1 教育理念と経営方針

21世紀をたくましく生き、国際社会での活躍を期した人格形成の基礎づくりを教育理念とする。

児童の10年先を見据えた「豊かなコミュニケーション力を基盤に、主体的に問題解決を図ることのできる学力保障、健康な心身の育成、そして人権尊重の精神に基づいた社会化形成をめざした下京渉成教育」をすすめる。学校教育および学校運営課題達成にむけて、教職員の個々の力と建設的組織体としての力を結集し、高い目標に挑戦する学校づくり、保護者・地域とのつながりを広げる学校づくりをめざす。

2 学校教育目標

「夢に挑戦 いっしょに感動 すてきな笑顔」

■主体的・問題解決的な学びの形成

■切磋琢磨の心と自己指導能力の育成

■やさしい心とたくましい体の育成

めざす子ども像

進んで学習する子

人を大切にする子

元気いっぱいの子（笑顔とあいさつがすてきな子）

3 取組の重点

■ 主体的・問題解決的な学びの形成

校内研究

主体的な学習活動、コミュニケーション力・言語力の向上

新学習指導要領に向けて

道徳、外国語

■ 切磋琢磨の心と自己指導能力の育成

児童理解・生徒指導の充実

社会の基本的なルールの指導と道徳性の育成

■ やさしい心とたくましい体の育成

■ 小中連携・地域連携

■ 教職員の組織力の向上